

味の素食の文化センター研究助成

「国産バナナの食文化における可能性—「バナナと日本人」から「日本人のバナナ」へ」
(代表：佐藤靖明) 研究会

国産バナナの可能性を考える —台湾と日本の生産者からみた食と農—

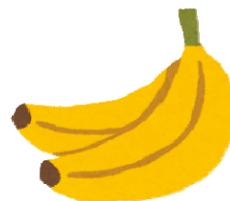
2019年1月28日(月) 14:00-18:00

大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

(大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル19階)

<http://www.umed-osu.ne.jp/access.html>

※参加予約不要、無料、日本語訳あり



王繼維

台湾・台青蕉 代表

「バナナ王国台湾のバナナの食文化」

高雄県旗山でバナナの生産・加工・販売を行い、バナナ専門店を経営。ロックバンド「台青蕉樂團」のボーカル・キーボードでも活動中。

<http://youthbanana.blogspot.com/>

張瑋琦

台湾・国立清華大学

「台湾におけるバナナの工芸と地域振興—先住民地域の事例から—」

応用人類学が専門。台湾で少数民族の農業、食農教育、地域振興の研究を行っている。2018年より国際民族生物学会理事。

<http://decr.web.nthu.edu.tw/files/15-1991-9432,c21-1.php?Lang=zh-tw>

東晃

神バナナ株式会社 代表

「九州でのバナナ生産の挑戦」

鹿児島県南九州市において、皮ごと食べられる有機バナナを生産・加工・販売をおこなっている。現在、栽培地域を九州各地に拡大中。

<http://kamibanana.co.jp/>

石田守

稲沢バナナ園 園主

「バナナを通して伝えたい食と農業の可能性」

愛知県稲沢市で有機バナナ園を運営。収穫体験会や様々なイベントをとおして、子どもたちの学びを追究している。

<http://www.inazawabanana.com/>

佐藤靖明

大阪産業大学

「世界におけるバナナの食と農」

アフリカ、パプアニューギニア、台湾などのバナナ栽培文化を研究している。「バナナの足」研究会メンバー。

<http://kenkyu.osaka-sandai.ac.jp/Profiles/16/0001531/profile.html>

国産バナナの現状を知りたい方、バナナ関係者との交流を希望する方、バナナが好きな方はぜひお越しください！

<問い合わせ先> 佐藤靖明 sato@est.osaka-sandai.ac.jp

味の素食の文化センター研究助成「国産バナナの食文化における可能性」(代表:佐藤靖明)
研究会

国産バナナの可能性を考える

—台湾と日本の生産者からみた食と農—

<開催日> 2019年1月28日(月)

<場所> 大阪産業大学梅田サテライトキャンパス
(大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル19階)

<http://www.umedu-osu.ne.jp/access.html>

※日本語訳あり

14:00 挨拶、ゲストの紹介

佐藤靖明(大阪産業大学)

14:10 世界におけるバナナの食と農

佐藤靖明(大阪産業大学)

14:25 バナナ王国台湾のバナナの食文化

王繼維(台湾・台青蕉)

15:00 台湾におけるバナナの工芸と地域振興—先住民地域の事例から

張瑋琦(台湾国立清華大学)

15:35-15:55 休憩

15:55 九州でのバナナ生産の挑戦

東晃(神バナナ株式会社)

16:30 バナナを通して伝えたい食と農業の可能性

石田守(稲沢バナナ園)

17:10-18:00 ディスカッション

<問い合わせ先> 佐藤靖明 Yasuaki Sato sato@est.osaka-sandai.ac.jp